

- 乏による歯槽骨骨梁構造および固有歯槽骨の脆弱化に関する基礎的検討．平成 17 年度日本骨粗鬆症学会研究奨励賞，2005.
- 2) 田中みか子：卵巣摘出サルの下顎底皮質骨内に認められる管腔構造の解析．平成 17 年度日本骨形態計測学会学会賞，2005.
- 3) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Stress around a dental implant in a model that simulates bone to the trabecular level. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会，デンツブライ賞，2005.
- 4) 藤井芳仁，河野正司，林 豊彦，本蔵義信，竹内聡史，甲斐朝子：磁気センサーを用いた咬合高径測定装置の開発．第 114 回日本補綴歯科学会学術大会 デンツブライ賞，2005 .
- 5) 121-125, 2005.
- 4) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. *Int. J. Prosthodont.*, 19(1): 40-42, 2006.
- 5) 内田嘉壽子，寺田員人，北村絵里子，朝日藤寿一，齋藤 功：リハビリメイクの精神心理学的効果についての研究．新潟歯学会誌，35 (1):19-28,2005.
- 6) 櫻井直樹，河野正司，小林 博，鈴木一郎，八木 稔，宮崎秀夫，野村修一，林 孝文，山田一尋，星名秀行，高木律男，寺田員人，荒井良明，本間 濟：ネットワークを活用した顎関節症患者遠隔診断支援システム構築のための予備的調査．新潟歯学会誌，35 (1):29-39,2005.
- 7) 右近さゆり，佐藤真理，石井結里，小林富佐子，村山昌子，柴田佐都子，豊里 晃，野村修一：介護者に口腔ケア意識を啓発するためのパンフレット - 介護者の理解と活用状況のアンケート - . 新潟歯学会誌，35 (2):9-15,2005.
- 8) 佐川敦子，澤山 茂，五十嵐敦子，野村修一，飯田文子，山口静子：若年者と高齢者の甘味嗜好における性差の比較．日本味と匂学会誌，12 (3):361-364,2005.
- 9) 豊里 晃，山下 庸，野村修一：筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者における吸引力カテーテルの口腔内保持装置．障歯誌，26:277-279,2005.
- 10) 伊藤加代子，浅妻真澄，渡部 守，竹石英之，五十嵐敦子，野村修一：口腔乾燥感を有する患者に対する保湿剤 (ウェットケア) の効果．老年歯学，20,63 - 67,2005.

【その他】

- 1) 櫻井直樹：応急処置から新製までの補綴治療について．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 7 月 6 日，2005 年 .
- 2) 田中みか子：可撤性部分床義歯のメンテナンスについて．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 7 月 20 日，2005 年 .
- 3) 澤田宏二：義歯咬合採得のポイント．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2005 年 11 月 2 日，2005 年 .
- 4) 澤田宏二：義歯設計の押さえどころ．平成 17 年度歯科臨床研修医セミナー，新潟大学歯学部，2006 年 2 月 15 日，2005 年 .

加齢歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Kitamura E, Stegaroiu R, Nomura S, Miyakawa O: Influence of marginal bone resorption on stress around an implant - A three-dimensional finite element analysis -. *J Oral Rehabil.*, 32(4): 279-286, 2005.
- 2) Taguchi Y, Amizuka N, Nakadate M, Ohnishi H, Fujii N, Oda K, Nomura S, Maeda T : A histological evaluation for guided bone regeneration induced by collagenous membrane. *Biomaterials*, 26 (31): 6158-6166, 2005.
- 3) Watanabe M, Asatsuma M, Ikui A, Ikeda M, Yamada Y, Nomura S, Igarashi A: measurements of several metallic elements and matrix metalloproteinases (MMPs) in saliva from patients with taste disorder. *Chemical Senses*, 30(2):

【商業誌】

- 1) 野村修一，豊里 晃，野村章子：ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能評価システム．歯界展望特別号，251,2005 年 .
- 2) 伊藤加代子，野村修一：在宅難病患者さんのドライマウス対応．難病と在宅ケア，11 (8): 41-43,2005 年 .
- 3) 野村修一：歯科金属アレルギーの診断と治療．日歯医師会誌，58 (7): 698，2005 年 .
- 4) 山野井敬彦，大川成剛，野村修一，熊倉喜久夫，田中正信，木村修平：IC タグの歯科への応用 - 第 1 報 歯科技工物の管理について - . 歯科技工，34 (3): 320-323, 2006 年

【研究成果報告】

- 1) Stegaroiu Roxana: インプラント・骨の界面における全面吸収を予測する三次元有限要素モデルの追

- 求・文部科学省科学研究費補助金研究 若手研究(B)
(継続) 課題番号 16791186, 2006年.
- 2) Stegaroiu Roxana: 鋳造ポストに比べてグラスファイバー強化型複合レジン・ポストの支台築造は残存歯質が少ない歯根の寿命を延ばせるか? - 反復荷重による歯根損傷の比較検討 - . 平成17年度新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2005年.
- 3) 野村修一, 豊里 晃, 山田好秋, 五十嵐敦子, 井伊直子, 野村章子: ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能の総合的評価システムの構築とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(B)(2) 課題番号 15390580, 2006年
- 4) 野村修一, 田口裕哉, 飛田 滋, 野村章子: 安全で容易な義歯着脱操作は要介護高齢者の義歯装着率を向上させる. 文部科学省科学研究費補助金研究, 萌芽研究 課題番号 17659609, 2006年.
- 【講演・シンポジウム】**
- 1) 佐藤孝弘: サイナスリフトハンズオンコース. 福岡, 2005年4月3日.
- 2) 野村修一: おいしく食べて健康長寿 - 口腔ケアで食べることの老化を防ごう - . 佐渡歯科医師会市民公開セミナー, 佐渡, 2005年6月4日.
- 3) 野村修一: 高齢者の補綴治療をめぐる話題から - ドライマウスと複製義歯 - . 小千谷市北魚沼郡歯科医学会, 小千谷, 2005年8月6日.
- 4) 佐藤孝弘: サイナスリフトハンズオンコース. 福岡, 2005年8月29日.
- 5) 野村修一: 新潟県における厚生労働科学研究3年間の成果 - 要介護者用クリニカルパス(地域パス)を中心にして - . 日本補綴歯科学会第114回学術大会市民フォーラム, 新潟, 2005年10月2日, 補綴誌49・114回特別号, 49頁, 2005.
- 6) 佐藤孝弘: インプラントで白い歯を取り戻す. 平成17年度新潟大学公開講座「ほほえみ美人」, 新潟, 2005年11月1日.
- 7) 佐藤孝弘: インプラントのバイオメカニカルバランス. 名古屋 SJCD 10周年記念講演会, 名古屋, 2005年10月29日.
- 8) 野村修一: 口腔機能向上事業に向けて. 小千谷市「口腔機能向上事業」研修会, 小千谷, 2006年1月29日.
- 9) 佐藤孝弘: メタルフリー修復入門. 柏崎市歯科医師会学術講演会, 柏崎, 2006年2月4日.
- The 11th meeting of the International College of Prosthodontists, Crete, Greece, 2005. 5. 25-28, Abstract, 136 (#172), 2005.
- 2) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. The 11th Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP), Crete, Greece, 2005. 5. 25-28, Abstract, 185(#254), 2005.
- 3) Nomura S, Tazawa T: Survey on oral conditions and nutritional status in the independent elderly. The 4th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics, Bangkok, Thailand, 2005.8.10, Prosthetic Dentistry in the World of Difference "Life-long Learning", 61, 2005.
- 4) Nakadate M, Amizuka N, Nomura S, Maeda T: Biological effects of a self-setting alpha-TCP on osteogenesis in combination with dental implant placement. 27th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Nashville, USA, 2005. 9. 23-27, J. Bone Miner. Res., 20 (Suppl 1): S202, 2005.
- 5) Nomura S, Toyosato A, Igarashi A, Li N, Nomura A: A Portable System to Evaluate Swallowing Function at Bedside. 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology, Shanghai, China, 2005.11.12, Proceedings of 2005-Sino-Japanese Conference on Syomatology, 66-67, 2005.
- 6) 右近さゆり, 村山昌子, 佐藤真理, 石井結里, 小林富佐子, 柴田佐都子, 豊里 晃, 野村修一: 介護者に口腔ケア意識を啓発するためのパンフレット - 介護者の理解と活用状況のアンケート調査 - . 第38回新潟歯学会総会, 新潟, 2005年4月16日, 35 (1), 90頁, 2005年.
- 7) 右近さゆり, 二瓶恵子, 村山昌子, 知野優子, 佐藤真理, 石井結里, 山本純子, 塚田真由美, 小林富佐子, 永井やよい, 柴田佐都子, 豊里 晃, 野村修一: 介護者の口腔ケアの意識を啓発するためのパンフレット作成とその効果 第4回大学附属病院歯科・口腔領域の看護研究発表会, 徳島, 2005年4月22日, 第59回日本口腔科学会総会プログラム・抄録集, V-9, 10, 2005年.
- 8) かづきれいこ, 寺田員人, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男, 小林正治, 齊藤 力, 北村絵里子, 古郷幹彦: リハビリメイクの精神心理学的アプローチについて. 第29回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2005年4月25-26日, 日口
- 【学会発表】**
- 1) Kitamura E, Stegaroiu R, Sato T, Nomura O, Miyakawa O: Marginal bone resorption around stable implants: biomechanical and clinical aspects.

- 蓋誌抄録号, 30 (2): 219 頁, 2005 年 .
- 9) 中館正芳, 魚島勝美, 網塚憲生, 織田公光, 前田健康, 野村修一: インプラント周囲に充填した自己硬化型 -TCP 系骨補填材に対する組織反応. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 14-15 日, 補綴誌 49・113 回特別号, 74 頁, 2005 年 .
 - 10) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O. Stress around a dental implant in a model that simulates bone to the trabecular level. 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 15 日, 補綴誌 49・113 回特別号, 201 頁, 2005 年 .
 - 11) 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司: 要介護者への口腔機能リハビリテーションのデイサービスでの実施とその効果. 第 16 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 東京, 2005 年 6 月 16 日, 第 16 回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・事前抄録集, 66 頁, 2005 年 .
 - 12) 中館正芳, 網塚憲生, 野村修一, 前田健康: 歯科インプラント周囲に植立と同時に充填された -TCP 系自己硬化型補填材が誘導する新生骨について. 第 25 回日本骨形態計測学会年会, 東京, 2005 年 6 月 17-19 日, 日骨形態誌, 15(2)(抄録号): 87 頁, 2005 年 .
 - 13) 大内章嗣, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 小野和宏, 五十嵐敦子, 鈴木 昭, 隅田好美, 八木 稔, ステガロク・ロクサーナ, 中島俊一, 石川裕子: 口腔生命福祉学科新入生を対象とした進路希望等に関するアンケート調査 2 年間の比較. 日本歯科医学教育学会, 徳島, 2005 年 7 月 7 日, 第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会抄録集, 77 頁, 2005 年 .
 - 14) 中館正芳, 網塚憲生, 野村修一, 前田健康: チタンインプラント植立時に併用した -TCP 系自己硬化型補填材が新生骨へ及ぼす影響. 第 23 回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2005 年 7 月 21-23 日, 日本骨代謝学会誌 (プログラム抄録集): 220 頁, 2005 年 .
 - 15) 渡邊清志, 飛田滋, 岡田直人: コンプリートデンチャーにおける両側性咬合平衡を高めるための必要条件と技工の実際. 第 27 回日本歯科技工学会学術大会, 2005 年 9 月 18-19 日, 日歯技工誌, 26 (2), 290 頁, 2005 年 .
 - 16) 竹石英之, 五十嵐敦子, 渡部 守, 大島勇人, 野村修一: 亜鉛欠乏がラット味蕾のアポトーシスに及ぼす影響について. 日本味と匂学会第 39 回大会, 盛岡, 2005 年 9 月 26-28 日, 日本味と匂学会第 39 回大会プログラム・予稿集, 92 頁, 2005 年 .
 - 17) 中館正芳, 網塚憲生, 前田健康, 野村修一: インプラント周囲に充填した -TCP 系骨補填材が誘導する新生骨について. 第 47 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 宮城, 2005 年 9 月 29-30 日, 歯基礎誌, 47 (抄録集), 100 頁, 2005 年 .
 - 18) 沼奈津子, 石田陽子, 那須真樹子, 野田 忠, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼ (Val406Ala) の細胞生物学的解析. 第 47 回歯科基礎医学会学術大会, 宮城, 2005 年 9 月 29-30 日, 歯基礎誌, 47 (抄録集), 160 頁, 2005 年 .
 - 19) 伊藤加代子, 田巻元子, 豊里 晃, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発 第 1 報 口腔に関する実態調査. 日本補綴歯科学会 第 114 回学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 151 頁, 2005 年 .
 - 20) 田巻元子, 伊藤加代子, 豊里 晃, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発 第 2 報 専門的口腔ケアの効果. 日本補綴歯科学会 第 114 回学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 152 頁, 2005 年 .
 - 21) 伊藤加代子, 安藤栄吾, 田巻元子, 豊里 晃, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発 第 3 報 義歯治療の効果. 日本補綴歯科学会 第 114 回学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 153 頁, 2005 年 .
 - 22) 豊里 晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発 第 4 報 リハビリテーションの効果. 日本補綴歯科学会 第 114 回学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 154 頁, 2005 年 .
 - 23) 伊藤加代子, 田巻元子, 豊里 晃, 野村修一, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発 第 5 報 クリニカルパスの作成. 日本補綴歯科学会 第 114 回学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 155 頁, 2005 年 .
 - 24) 川岸恵理子, 大島邦子, 野村修一, 大島勇人: 高齢ラット臼歯窩洞形成後の歯髄反応. 第 114 回日本補綴歯科学会学術大会, 新潟, 2005 年 10 月 1-2 日, 補綴誌 49・114 回特別号, 183 頁, 2005 年 .
 - 25) 川岸恵理子, 大島邦子, 野村修一, 大島勇人: 高齢ラット臼歯窩洞形成後の歯髄反応. 平成 17 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2005 年 11 月 5 日, 35 (2), 258 頁, 2005 年 .
 - 26) 沼奈津子, 石田陽子, 那須真樹子, 野田 忠, 織田公光: 低ホスファターゼ症患者で報告された変異型組織非特異型アルカリホスファターゼ V406A の

解析．平成17年度新潟歯学会第2回例会，新潟，2005年11月5日，新潟歯学会誌，35(2)，262頁，2005年．

- 27) 中館正芳，網塚憲生，野村修一，前田健康：チタンインプラント植立時に併用した -TCP系自己硬化型補填材が骨再生に及ぼす影響．平成17年度新潟歯学会第2回例会，新潟，2005年11月5日，新潟歯学会誌，35(2)，265頁，2005年．
- 28) シャルミン・ファルハナ，ステガロク・ロクサーナ，岡田直人，北村絵里子，野村修一，宮川 修：異なる支台築造が歯根の破折強度と破壊様式に及ぼす影響 反復荷重による歯根損傷の比較検討：中間報告．日本補綴歯科学会関越支部総会，高崎，2006年1月21日，同学術大会抄録集，8頁，2006年．
- 29) 佐藤孝弘，奥村暢旦，野村修一：義歯の支持安定にインプラントを利用した症例．日本補綴歯科学会関越支部総会，高崎，2006年1月21日，同学術大会抄録集，14頁，2006年．

【その他】

- 1) 魚島勝美，橋本明彦，井伊直子，岡田 淳，野村修一：歯冠修復学・欠損補綴学（橋義歯）実習書．新潟大学医歯学総合病院・新潟大学医歯学総合研究科，新潟，2005年5月．
- 2) 田口裕哉，藤井規孝：咬合回復におけるTEKの活用とコツ，印象採得域・方法と咬合器の選択．平成17年度臨床研修医セミナー 新潟 2005年8月3日．
- 3) 野村修一：金属アレルギーの診断と治療．ラジオNIKKEI『歯科医の時間』，2005年8月9日．
- 4) 井伊直子：歯科用レーザーの現状と未来．平成17年度歯科臨床医研修セミナー，新潟，2006年3月8日．
- 5) 野村修一：歯科医療の近代史．博物館ボランティア養成セミナー記録集 2004：25-34，新潟大学旭町学術資料展示館，2004年．

【受賞】

- 1) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Stress around a dental implant in a model that simulates bone to the trabecular level. 第113回日本補綴歯科学会学術大会 デンツプライ賞，2005年．
- 2) 中館正芳：インプラント周囲に充填した自己硬化型 -TCP系骨補填材に対する組織反応．第113回日本補綴歯科学会学術大会課題口演コンペティション 優秀賞．

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) Chen F, Terada K, Hanada K: Anchorage effect of various shape palatal osseointegrated Implants: A finite element study. Angle Orthod, 75(3): 378-385, 2005.
- 2) Chen F, Terada K, Hanada K, Saito I: Anchorage effects of a palatal osseointegrated implant with different. Angle Orthod, 75(4): 593-601, 2005.
- 3) Chen F, Terada K, Hanada K, Saito I: Predicting the pharyngeal airway space after mandibular setback surgery. J Maxillofacial Oral Surg, 63(10): 1509-1514, 2005.
- 4) Chen F, Terada K, Hanada K, Saito I: The anchorage Effect of Osseointegrated vs Nonosseointegrated Palatal Implants. Angle Orthod, 2005 in press.
- 5) Chen F, Terada K, Hemoudi Y, Takemura F, Hanada K, Saito I: Anchorage effect of palatal osseointegrated implant on teeth with simulated bone loss: A finite element study. Niigata Dent J, 35(2): 185-191, 2005.
- 6) Chen F, Terada K, Hanada K: A Special Method of Predicting Mandibular Growth Potential for Class III Malocclusion. Angle Orthod, 75(2): 191-195, 2005.
- 7) Edanami K, Yamazaki K, Matubara T, Saito I, Terada K: A study on the anterior ratio in patients showing mandibular prognathism. Niigata Dent J, 35(1): 41-50, 2005.
- 8) Estomaguio GA, Yamada K, Ochi K, Hayashi T, Hanada K: Craniofacial morphology and inclination of the posterior slope of the articular eminence in female patients with and without condylar bone change. CRANIO, 23: 2005 in press.
- 9) Maruyama Y, Harada F, Jabbar S, Saito I, Aita M, Kawano Y, Suzuki A, Nozawa-Inoue K, Maeda T: Neurotrophin-4/5-depletion induces a delay in maturation of the periodontal Ruffini endings in mice. Archs Histol Cytol, 68(4): 267-288, 2005.
- 10) Nibe H, Yamada K, Fukui T, Kohno S, Hanada K.: Analysis of head and mandibular tapping movements in patients with mandibular protrusion. CRANIO, 2006 in press.
- 11) Okabe S, Morimoto Y, Ansai T, Yamada K, Tanaka T, Awano S, Kito S, Takata Y, Takehara T, Ohba T: Clinical significance and variation